

21世紀高野山医療フォーラム講師ご紹介

山折哲雄氏



学 歴 昭和29年 3 月 東北大学文学部印度哲学科卒業
昭和31年 3 月 東北大学大学院文学研究科修士課程修了
昭和34年 3 月 東北大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学

職歴

昭和36年 4 月 東北大学文学部助手
昭和37年 4 月 鈴木学術財団研究部勤務
昭和44年 8 月 株式会社春秋社編集部勤務(昭和48.3.31まで)
昭和51年 4 月 駒澤大学文学部助教授
昭和52年 4 月 東北大学文学部助教授
昭和57年 1 月 国立歴史民俗博物館教授
昭和63年10月 国際日本文化研究センター教授
平成 6 年10月 国立歴史民俗博物館名誉教授
平成 9 年 4 月 国際日本文化研究センター名誉教授
月 総合研究大学院大学名誉教授
" 白鳳女子短期大学設置準備室長
" 白鳳女子短期大学学長
平成 9 年12月 京都造形芸術大学大学院長
平成12年 4 月 国際日本文化研究センター所長(現在に至る)
平成13年 5 月

学位

文学修士(東北大学)

専門分野

宗教学・思想史

現在の研究テーマ

宗教・文明の比較研究

研究のキーワード

人間、日本人、自己

主要業績

著書

2004年1月 “Wandering Spirits and Temporary Corpses –Studies in the History of Japanese Religious Tradition–” Edited and Translated by Dennis Hirota, Nichibunken Monograph Series No.7, International Research Center for Japanese Studies

2001年7月 『愛欲の精神史』 小学館

2001年3月 『近代日本人の美意識』 岩波書店

2000年1月 『悪と往生』 中央公論新社

1996年5月 『近代日本人の宗教意識』 岩波書店

1990年7月 『死の民俗学』 岩波書店

1981年6月 『神から翁へ』 青土社

1981年6月 『巫の文化論』 佼成出版

1980年8月 『日本宗教文化の構造と祖型』 東大出版社

1976年8月 『日本人の靈魂観』 河出書房 2004年5月 『山折哲雄こころ塾』 東方出版

2004年1月 “Wandering Spirits and Temporary Corpses –Studies in the History of Japanese Religious Tradition – ” Edited and Translated by Dennis Hirota, Nichibunken Monograph Series No.7, International Research Center for Japanese Studies

2003年9月 『日本人の心』（上、下）NHK出版

2003年5月 『教えること、裏切られること 師弟関係の本質』 講談社

2003年 1月『西行巡礼』新潮社
2002年 9月『こころの作法 生への構え、死への構え』中央公論新社
2002年 1月『悲しみの精神史』PHP 研究所
2001年 11月『美空ひばりと日本人』（増補版）現代書館
2001年 7月『愛欲の精神史』小学館
2001年 6月『鎮守の森は泣いている』PHP 研究所
2001年 3月『近代日本人の美意識』岩波書店
2000年 1月『悪と往生』中央公論新社
1998年 1月『暮しのなかの祈り』岩波書店
1997年 12月『蓮如と信長』PHP 研究所
1997年 4月『日本人の宗教感覚』日本放送出版協会
1996年 5月『近代日本人の宗教意識』岩波書店
1995年 11月『日本人と浄土』講談社
1995年 3月『巡礼の思想』弘文堂
1993年 7月『仏教民俗学』講談社
1993年 5月『仏教とは何か』中央公論新社
1993年 2月『生と死のコスモグラフィ』法蔵館
1993年 2月『神と王権のコスモロジー』吉川弘文館
1991年 5月『臨死の思想』人文書院
1990年 7月『死の民俗学』岩波書店
1990年 6月『みやびの深層』角川書店
1990年 4月『宗教思想史の試み』弘文堂
1989年 3月『神秘体験』講談社
1987年 3月『乞食の精神誌』弘文堂
1986年 5月『日本人の顔』日本放送出版協会
1983年 7月『神と仏』講談社
1982年 10月『日本人の心情』日本放送出版協会
1981年 6月『神から翁へ』青土社
1981年 6月『坐の文化論』佼成出版
1980年 8月『日本宗教文化の構造と祖型』東大出版会
1979年 1月『霊と肉』東大出版会
1978年 9月『道元』清水書院
1978年 7月『天皇の宗教的権威とは何か』三一書房
1976年 8月『日本人の靈魂観』河出書房
1974年 1月『ガンディーとネルー』評論社
1973年 6月『日本仏教思想論序説』三一書房

1970年11月『人間蓮如』春秋社

1968年2月『アジアイデオロギーの発掘』勁草書房

編書

1995年1月『日本の神』第1～3巻 平凡社

1992年5月『修行と解脱』第1～3巻（共編・著）佼成出版社

1992年1月『日本における女性—日本思想における重層性—』名著刊行会

1991年11月『講座・仏教の受容と変容』第6巻日本編 佼成出版社

翻訳書

1970年2月 M. ウェーバー『アジア宗教の基本的性格』勁草書房（共著）

1969年2月 K.M. カバディア『インドの婚姻と家族』未来社

論文

2001年10月「文明を考える—弱い歴史と強い歴史」『本の旅人』角川書

2001年7月 “Universe and Life” in Life and the Universe—Scientific and Religious Viewpoints — Proceedings Volume one:Third
Yoko Civilization International Conference, August 1999,
Takayama, Japan

2001年6月「身もだえの話」『図書』岩波書店

2001年4～5月「メタ科学の夢」『科学』岩波書店

2000年4月 “Aum Shinrikyo Sounds the Death Knell of Japanese Religion” in Years of Trial: Japan in the 1990's, ed. Masuzono, Japan Echo.

1998年11月「日本人とキリスト教」『日本人はキリスト教をどのように受容したか』山折哲雄, 長田俊樹編 日文研叢書17

1998年8月「<遊び>と<遊びどころ>」『日本人の労働と遊び・歴史と現状』セップ・リンハルト, 井上章一編 日文研叢書16

1998年1月 “La religion japonaise: quatre étapes de son histoire, in Annuaire-Résumé des Conférences et travaux, Tome 105, EPHE (École Pratique des Hautes Études), section des Sciences religieuses, 1996~1997

1997年7月 “Buddha and Okina (“Aged man”) — The expression of dying

andmaturity” in *Aging Asian Concepts and Experiences –past and present–* (ed. by Susanne Formanek and Sepp Linhart), Österreichische Akademie der Wissenschaften Philosophisch– historische Klasse Sitzungsberichte, 643Band, Verlag der österreichischen Akademie der Wissenschaften, Wien, 1997

1997年6月 “Transcendence Versus Immanence—The Japanese Struggle with Christianity” , *Japan Review of International*

Affairs, vol.11, number 2

1997年5月 “The Image of <Rojo> or Elderly Women in Japanese Legend” , *Nichibunken Japan Review No.9, Special Tenth Anniversary Issue*

1997年2月 「藪の中から霧の中へー共同研究『日本人はキリスト教をどのように受容したか』をめぐって」『日文研』No.16

1996年12月 「捨身飼虎の変容」『日本研究』第15集 角川書店

1996年6月 「飢餓と癒し」『宗教研究』 日本宗教学会

1996年5月 「宗教と文明」講座『文明と環境』13巻『宗教と文明』朝倉書店

1994年 “Buddha-s and Kami-s: About the Syncretic Relationship between Sinto and Buddhism” in *École française d’ Extrême –Orient(Études Thématiques2, Bouddhisme et cultures locales Actes du colloque franco-japonais de septembre 1991, édités par FUKUI Fumimasa et Gérard FUSSMAN)*, Paris, 1994

1993年5月 「中性の骨ー仏舎利信仰と遺骨信仰」『日本人と日本文化の形成』 朝倉書店

1992年2月 「覚鑿密教の特質」『興教大師覚鑿研究』 春秋社

1991年8月 「心臓の交換と心臓の瞑想」『生と死の様式』 誠信書房

1990年11月 「皇子誕生の秘儀」『思想』No.797 岩波書店

1989年7月 「光明と白道」『図説・日本の仏教3「浄土教」』 新潮社

1989年5月 「方法としての<もどき>ー折口信夫の場合」『日本研究』第1集 角川書店

1989年3月 「二つの肉体ーチベットにおける王位継承と転生思想」『チベット曼荼羅の世界』小学館

1988年10月 「カミーその変容と展開」岩波講座『東洋思想』第15巻 岩

岩波書店

1987年3月「秘仏と神」『国立歴史民俗博物館研究報告』第15集

国立歴史民俗博物館

1986年5月「遊行と漂白のトポロジー」大系・仏教と日本人 『遊行と漂白』 春秋社

1985年3月「後七日御修法と大嘗祭」『国立歴史民俗博物館研究報告』
第7集 国立歴史民俗博物館

1983年3月「神から翁へー基層信仰に関する一考察」『国立歴史民俗博物館
研究報告』

第2集 国立歴史民俗博物館

1982年8月「翁と童子ーその身体論的時空」『思想』8月号 岩波書店

1981年10月「僧院的禁欲」『現代宗教4ー修行』 春秋社

1981年3月「現代宗教の明暗」『宗教研究』247 日本宗教学会

1980年8月「受苦と苦滅の分水嶺ー山越阿弥陀図の画因をめぐって」
『仏教思想4・苦』 仏教思想会編 平楽堂書店

1980年6月「宗教経験としての涙ー口ヨラと善導の場合ー」『思想』6月号
岩波書店

1980年3月「古代日本における神と仏の関係」『東北大学文学部研究年報』
29 東北大学

1979年9月「霊死論」『講座・日本の民俗宗教』3 弘文堂

1978年9月「日本のシャーマニズム的風土ー八幡と不動」『シャーマニズム
の界』 春秋社

1978年6月「死のための団体形成ー源信とその同士たち」『宗教研究』236
日本宗教学会

1977年12月「密教への社会学的アプローチ」『講座密教4. 密教の文化』 春
秋社

1974年3月「カリスマと禁欲ー宗教的断食の意味ー」東北大学『文化』37-3・
4

受賞歴

2003年 第54回 日本放送協会 放送文化賞

2002年 和辻哲郎文化賞(一般部門)

2001年 京都新聞大賞 文化学術賞

科学研究費補助金取得状況

平成 4～6 年度 一般研究B 「『いのち』観念にあらわれた日本人の宗教性の実証的研究」

平成 7～9 年度 一般研究C 「日本の生命観に関する思想史的総合研究」

所属学会等

日本宗教学会、日本民族学会、比較文明学会、日本民俗学会

社会活動等

- 独立行政法人国際交流基金 国際交流基金賞 国際交流奨励賞 選考委員
- 大阪府「山片蟠桃賞」 審査委員
- 亀岡市「生涯学習」 選考委員
- 京都市教育委員会京都市スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会委員
- 京都文化会議組織委員会 理事
- 富山県館山博物館 顧問
- 広島市 平和記念施設あり方懇談委員会
- 平城遷都 1300 年記念 2010 年委員会委員
- (財)小倉百人一首文化財団 評議会
- 関西サイエンス・フォーラム 理事
- (社)京都経済同友会「21 世紀委員会」委員
- (社)京都市社会福祉協議会 桂坂野鳥遊園を育てる推進会推進委員
- (財)国連大学協力会 評議員
- (財)自治統合センター 文化を基調とした地域再生に関する研究会委員
- (財)大学コンソーシアム京都 学術コンソーシアム総会 京都学・21 世紀学」研究幹事
- 中部大学 中部高等学術研究所 評議員
- (財)21 世紀ヒューマンケア研究機構 評議員
- 京都国際連合協会京都本部 理事

